

深谷市所蔵

2021年

8月21日(土) 14時〜15時30分

YouTubeライブ配信



渋沢栄一の生涯とハンセン病

—その事績と功罪をめぐって—

大河ドラマ「青天を衝け」の主人公である渋沢栄一は経営者としてだけでなく、福祉の先駆者としての実績が数多くあります。なかでも東京養育院院長を長く務めたことが特筆されますが、養育院で出会ったのがハンセン病患者でした。以後、渋沢はハンセン病とのつながりを持ち続けましたが、その関わりには隔離政策に関与したという側面があることも否定できません。渋沢が生涯のなかでどのようにハンセン病と関わったのかをたどりながら、渋沢とハンセン病問題との関係をどう評価するかを考えていきます。



【講師紹介】 杉山博昭氏（ノートルダム清心女子大学教授）

1962年生まれ。社会福祉を専門とし、その観点からハンセン病問題の研究にも取り組んでいる。主な著書に『キリスト教ハンセン病救済運動の軌跡』（大学教育出版）、『「地方」の実践からみた日本キリスト教社会福祉』（ミネルヴァ書房）、『渋沢栄一に学ぶ福祉の未来』（青弓社）などがある。

YouTubeライブによる無料配信：開催日時に上記QRコードまたは下記URLからアクセスしてご覧ください。

視聴用URL <https://youtu.be/eEehOXuhWkl>

主催

国立ハンセン病資料館 〒189-0002 東京都東村山市青葉町 4-1-13
TEL：042-396-2909 FAX：042-396-2981 <http://www.hansen-dis.jp>